

横浜市感染症発生動向調査報告 5月

《今月のトピックス》

- 性的接触によるA型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- 咽頭結膜熱の報告が増加傾向にあります。
- 伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多い状態が続いています。

◇ 全数把握の対象

〈5月期に報告された全数把握疾患〉

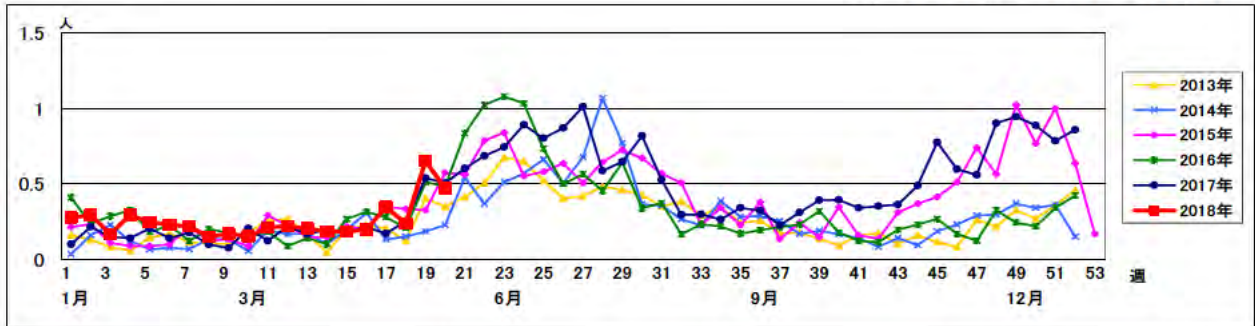
腸管出血性大腸菌感染症	8件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	4件
A型肝炎	7件	ジアルジア症	1件
レジオネラ症	2件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
アメーバ赤痢	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	10件
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2件	水痘(入院例に限る)	6件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件	梅毒	13件
急性弛緩性麻痺	1件	百日咳	4件
急性脳炎	1件	—	—

- 腸管出血性大腸菌感染症: O157の報告が5件、O111の報告が2件、O26の報告が1件ありました。O157の2件、O111の2件は同一集団での報告です。
- E型肝炎: 国内での報告が1件あり、感染経路不明でした。
- A型肝炎: 同性間の性的接触が5件(いずれも国内)、同性間および異性間の性的接触が1件(台湾)、感染経路等不明が1件でした。
- レジオネラ症: 肺炎型の報告が2件あり、感染経路等不明です。
- アメーバ赤痢: 異性間の性的接触が2件(腸管アメーバ症1件、腸管外アメーバ症1件)でした。
- ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く): 性的接触によるB型肝炎の報告が2件(同性間が1件、異性間が1件)ありました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 4件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 急性弛緩性麻痺: 10歳代のポリオ含有ワクチン接種歴2回の報告が1件ありました。感染経路等不明です。
- 急性脳炎: 幼児の報告が1件あり、病原体は不明です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群とG群の報告が1件ずつあり、感染経路等不明でした。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): AIDSの報告が1件、無症状病原体保有者の報告が2件、その他の報告が1件あり、いずれも男性で、性的接触(異性間3件、同性間1件)による感染でした。
- ジアルジア症: 国内での同性間の性的接触による報告が1件ありました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 30歳代および80歳代の報告が1件ずつありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満で4件(いずれもワクチン接種歴4回)、60歳以上で6件(ワクチン接種歴あり1件、なし1件、不明4件)の報告がありました。
- 水痘(入院例に限る): 検査診断例が3件(20歳代、60歳代、70歳代1件ずつ)、臨床診断例が3件(30歳代1件、40歳代2件)です。
- 梅毒: 13件の報告(無症状病原体保有者3件、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件)がありました。10件は国内での感染、1件はドイツでの感染で、2件は感染地域不明です。男性9件、女性4件でした。感染経路は、異性間の性的接触が9件、同性間の性的接触が2件、詳細不詳の性的接触が2件です。
- 百日咳: 新生児が1件、幼児、30歳代の報告が1件ずつ(いずれもワクチン接種歴4回)、60歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。

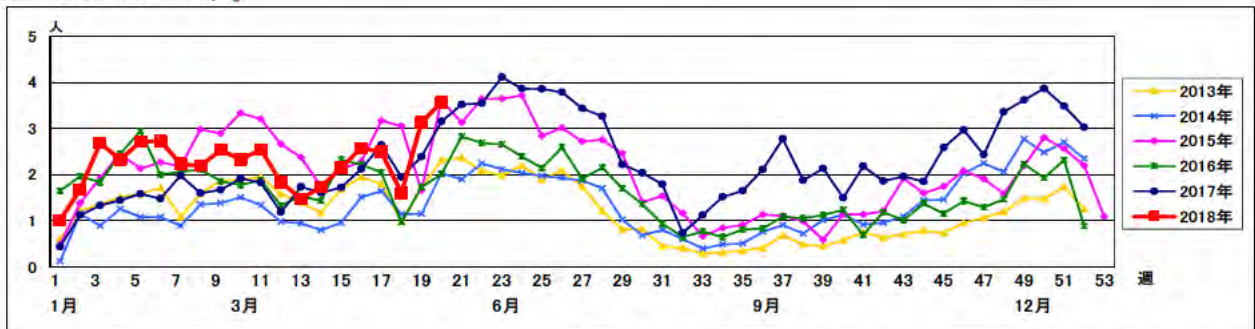
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第17週	4月23日～4月29日
第18週	4月30日～5月6日
第19週	5月7日～5月13日
第20週	5月14日～5月20日

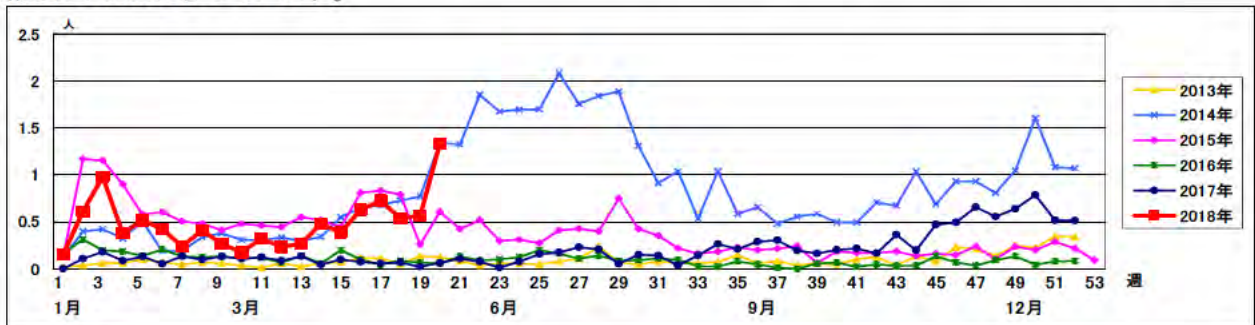
1 咽頭結膜熱：第19週に定点あたり0.65に増加しました。今後、夏季に向けてさらに増加するものと思われます。第20週では定点あたり0.47となっています。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2017年から例年と比べて高値で推移しています。第20週では定点あたり3.56となっています。



3 伝染性紅斑：2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第20週では定点あたり1.33となっています。



4 性感染症(4月)

性器クラミジア感染症	男性:17件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:6件	女性:14件
尖圭コンジローマ	男性:6件	女性:2件	淋菌感染症	男性:5件	女性:4件

5 基幹定点週報

	第17週	第18週	第19週	第20週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1.25	0.00	0.00	0.50

6 基幹定点月報(4月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

5月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点41件、内科定点14件、眼科定点2件、基幹定点11件で、定点外医療機関から搬入された検体は18件でした。

6月7日現在、ウイルス分離6株と各種ウイルス遺伝子17件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(5月)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *1	ア デ ノ 感 染 症 *2	胃 腸 炎	手 足 口 病 *1	発 熱
インフルエンザ AH3型				4 3				
アデノ 1型		1			1			
アデノ 型未同定		1			1			1
パラインフルエンザ 3型			1					
ヒトボカ			1			1		
ヒトメタニューモ			1					
ライノ		1	1					
エンテロ 71型							1	
ノロ						1		
ロタ						2		
アストロ						1		
合計		1 2	4 4	4 3	1 1	5	1	1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

*1:疑いを含む、*2:咽頭結膜熱を含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

「菌株同定」の主な依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌が12件、肺炎球菌、大腸菌毒素産生能の検査が各3件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌が2件ありました。保健所からは、腸管出血性大腸菌5件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌が4件、肺炎球菌、劇症型溶血性レンサ球菌、インフルエンザ菌が各2件となっています。

「分離同定」の検査は、基幹定点からレプトスピラ、ツツガムシ群、紅斑熱群が1件、保健所からは、レジオネラ菌の依頼がありましたがいずれも不検出でした。

「小児科サーベイランス」ではA群溶血性レンサ球菌が7件検出しました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(5月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	腸管出血性大腸菌	1	O157:H- VT2	
	腸管毒素原性大腸菌	1	O06:H- LT,ST	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	12	<i>Enterobacter aerogenes</i> 、 <i>Enterobacter cloacae</i> 、 <i>Citrobacter freundii</i> 、 <i>Klebsiella oxytoca</i> 、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> 、 <i>Escherichia coli</i>	
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	G群	
	肺炎球菌	3	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 1型、15B型、22F型	
	大腸菌毒素産生能	3	<i>Escherichia coli</i> O25、O6、O15 毒素産生能無し	
	コレラ菌	1	<i>Vibrio cholerae</i> nonO1&O139 CT- (NAGビブリオ)	
	PFGE	1	<i>Clostridium difficile</i>	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Enterobacter aerogenes</i> 、 <i>Enterobacter cloacae</i>	
	非結核性抗酸菌	1	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i>	
保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter aerogenes</i> 、 <i>Enterobacter cloacae</i> 、 <i>Serratia marcescens</i>	
	腸管出血性大腸菌	5	O111:H- VT1、O157:H- VT1VT2、 O157:H7 VT2	
	インフルエンザ菌	2	<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能	
	肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 7F型、型別不能	
	劇症型溶血性レンサ球菌	2	A群T9、G群	
分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関	レプトスピラ、ツツガムシ病リケッチア、 紅斑熱群リケッチア	血液	1	不検出
		尿	1	不検出
	ボレリア	血漿	1	不検出
		髄液	1	不検出
保健所	レジオネラ属菌	喀痰	1	不検出
小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	7	T1型、T4型、TB3264型、型別不能	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】